

答え合わせ・解説

問1	答え 1 高松市	東経134度の経線は、四国地方では香川県、徳島県、高知県の3県を通過しています。このうち、徳島県（徳島市）と高知県（高知市）は県名と県庁所在地名が一致していますが、香川県の県庁所在地は高松市であり、名称が異なります。選択肢にある松山市は愛媛県の県庁所在地ですが、愛媛県内を東経134度の経線は通過していません。
問2	答え 1 地図上の1cmが実際の250mに相当し、4cmで実際の1kmに相当する。	縮尺は、実際の距離を地図上に縮小して表した割合のことです。2万5千分の1の地形図の場合、地図上の距離を25,000倍することで実際の距離を算出できます。1cmの25,000倍は25,000cmであり、メートル法に直すと250mとなります。この基準を当てはめると、4cmの場合は250mの4倍、つまり1,000m（1km）となるため、距離の計算において非常に重要な基準となります。
問3	答え 1 札幌市	札幌市は北緯約43度に位置しており、これはヨーロッパのスペイン中部地域やイタリアの北部などとほぼ同じ緯度にあたります。日本列島を世界地図で見ると、緯度的には比較的南側に位置しており、北海道であってもヨーロッパの南欧諸国（スペイン、イタリア、ギリシャなど）と同じ緯度帯に含まれるという特徴があります。
問4	答え 1 沖ノ鳥島	日本の領土の東西南北の端に位置する島々のうち、最南端にあるのが沖ノ鳥島です。北緯20度付近という低緯度に位置しており、行政上は東京都に属します。よく混同される南鳥島は「最東端」の島であり、日本で最も早く日の出を迎える地点として知られています。最西端は沖縄県の与那国島、最北端は北海道の択捉島（北方領土）です。
問5	答え 1 道庁所在地	日本の都道府県には、それぞれ行政の中心となる役所が設置されています。これらを一般的に「県庁所在地」と呼びますが、北海道の場合は「県」ではなく「道」という区分であるため、役所は「道庁」と呼ばれます。そのため、その所在地である札幌市は「道庁所在地」と表現されます。同様に、東京都の場合は「都庁所在地」と呼ばれることもあります。
問6	答え 1 水域内にある漁業資源や海底の鉱物資源を、自国が優先的に管理・開発することができる権利を持つため。	排他的経済水域（EEZ）は、沿岸から12海里（約22km）までの「領海」とは異なり、他国の船舶の航行などは認められていますが、その水域内の資源については沿岸国が独占的な権利を持ちます。日本は世界第6位の広さを持つこの水域により、水産資源や将来的な海底資源（メタンハイドレートなど）の確保において非常に有利な立場にあります。この権利を維持するため、沖ノ鳥島のような遠方の島々の保全も重要な国家課題となっています。
問7	答え 1 地球は24時間で360度回転するため、経度15度ごとに1時間の時差が生じる。イギリスとの間に9時間の時差がある東経135度を基準としている。	地球の自転により、 $360\text{度} \div 24\text{時間} = 15\text{度}$ となり、経度が15度変化するごとに1時間の時差が発生します。日本の基準である東経135度は、経度0度の本初子午線から数えて「 $135 \div 15 = 9\text{時間}$ 」進んだ時刻を採用していることとなります。選択肢にある140度は日本の中心付近を通りますが、標準時子午線は計算のしやすい135度が採用されています。
問8	答え 1 鉄道（新幹線）	日本の交通網において、東京からの中・近距離圏に位置する愛知県や大阪府では、運行頻度が高く都市中心部へのアクセスに優れた鉄道（新幹線）が主要な移動手段となります。一方で、北海道や福岡県などの遠距離圏では、鉄道は移動時間が長くなるため、利用者数が少なくなります。